



作品名 「税の作文」

八尾市立曙川南中学校 三年 岡田 葉奈

私はまず「私たちの生活と税」という冊子や学校で学んだりする前は、税にはあまり興味や関心がなかったです。だから税の種類は正直、消費税や所得税くらいしか知りませんでした。それから税について学んでいると、税が五十種類もあるということにとっても驚きました。なぜなら、私が聞いたことがないような税がほとんどだったからです。そこから私は集めた税はどのようなことに使っているのだろうと気になりました。

集めた税は自分が思っているよりとても身近なところで使われていて私たちの暮らしを豊かで安全にするものということに気づきました。私が今、学校で使っている教科書や公園、道路など当たり前のように思っていたけど、これは全て税金だということを知り、納得がいきませんでした。国の借金の返済費用ばかりだと勝手に思い込んでいたからです。水道も税金でできていて、なかったらトイレにもいけません。だから私はもともとは税金は必要なのかという微妙な感じに思っていたけど今では絶対に必要と思うし、なかったら普段通りの生活ができなくなるから、今ではなくてはならないものとまで思うようになってきました。

私たちは国の借金の返済費用にも税金を払っていますが個人的にはそのために払いたくはないなと思っていました。けど今思うとその借金は結局、私たちの生活や暮らしを豊かで安全にしたものの結果なのであって、そのために私たちの税金を使うことは当たり前で逆に払わないというのはおかしいと思うようになりました。その税金は貧しい人でも金持ちな人も払うけど「累進課税制度」という所得が多いほど税率が上がる制度を私はいい制度だと思います。確かにたくさん稼ぐ人は不公平と思うかもしれないし、自分がそうだとしたらとても嫌だけど、国のために自分達のためにそれを受け入れて多く稼いでいる人はその分払うのはいいと思います。

今現在、日本は少子高齢化が進み、社会保障関係費が増え、その費用を負担する担い手が減っていくことが問題となっています。そうした中でその負担が特定の人に集中することをなくすための消費税の10%へ引き上げは批判がたくさん出るけど自分も高齢者にいずれはなるし、その時の負担は補ってくれるのだから今は一人一人がそのことをちゃんと考え、受け止めておくということがとても重要なことだと思いました。

税は私たちの暮らしを豊かで安全にするものであり、それについて私は絶対になくてはならないものだと思います。日本国民全員が税について一人一人が深く考え、知ることが大切だと思います。

